

電波時計 取扱説明書 (強化防滴・防塵 掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 ご氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

●ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。

●この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.

●ご記入いただきました個人情報は、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書の※欄に記入・捺印がない場合。

2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。

3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。

4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。

5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。

6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。

7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小キズや汚れなど)

8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

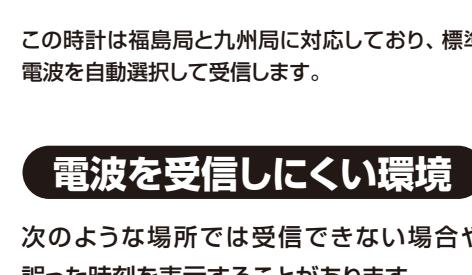
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<https://jjy.nict.go.jp>)

※アドレスは変更になる場合があります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

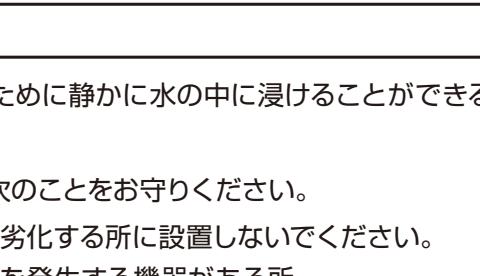


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



○防水性について

当社の強化防滴防塵は、汚れ落としのために静かに水の中に浸けることができる防水構造です。

△ 注意 防水性を維持するために次のことをお守りください。

●パッキンやプラスチック、金属部品が劣化する所に設置しないでください。

●殺菌や脱臭などを目的としたオゾンを発生する機器がある所

・屋外など紫外線を浴びる所

・塗料などに使われるトルエンなどの有機溶剤を使用する所

・温泉など硫化ガスが発生する所

・プールなど塩素殺菌による塩素ガスが発生する所など

●50°C以上になるサウナなどでは、電池からの液漏れが発生しやすくなります。

また、防水性能や時間精度が低下しますので使用しないでください。

●ふたをきっちり締めてください。

●油分のある台所でも使用できますが、天ぷら専門店の調理場や大量に油を使う工場など、多量の油分が発生する所では使用できません。

●耐水圧構造ではありませんので、水の中に深く沈めたり10分以上浸したりしないでください。

●湿度が高い所でふたの着脱を行わないでください。内部に湿気が入り込み、周囲の温度変化によりガラスがくもることがあります。

●防水性能を長く保つため、急激な温度変化や振動を加えないでください。

○蛇口、シャワーなどの流水掛けない

時計内部に浸水します。

禁止

温水を掛けない

温水を掛けない

禁止

水の中で洗わない

水の中で洗わない

水の中で洗わない

ケースの汚れを落とすとき

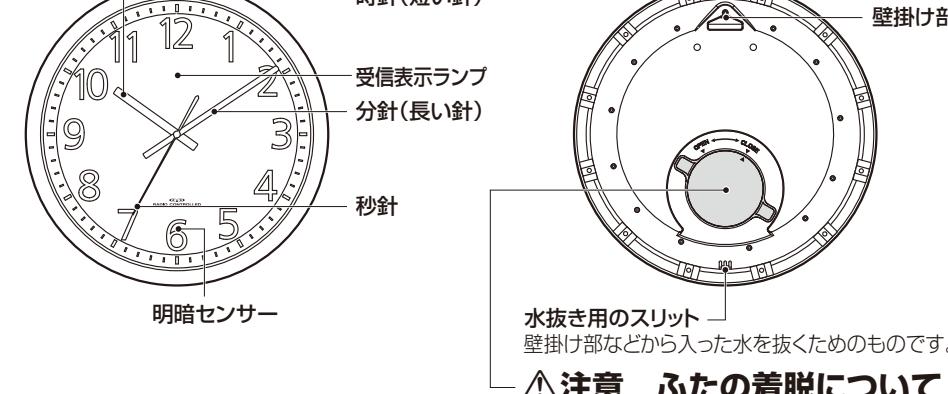
水でうすめた中性洗剤や石けん水を柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。汚れが落ちないときは、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤液の中で10分くらい浸してから時計を取り出して、汚れを落としてください。時計の厚み分約7cmの深さまで浸すことができます。

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



△注意 ふたの着脱について

- 浴室や温室など温度が高い所では、ふたの着脱を行わないでください。内部に湿気が入り、温度変化によりガラスの内側などに結露することがあります。
- ふたを取り外すときは、事前に時計や手の水分をよく拭き取ってください。
- 電池のセットやボタン操作が終わったら、ふたをきっちり締めてください。

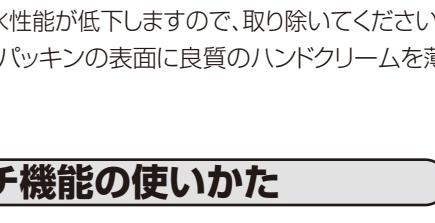
ふたの取り外し

ふたの▲印を「CLOSE」から左に回転させ、「OPEN」の位置にして取り外します。



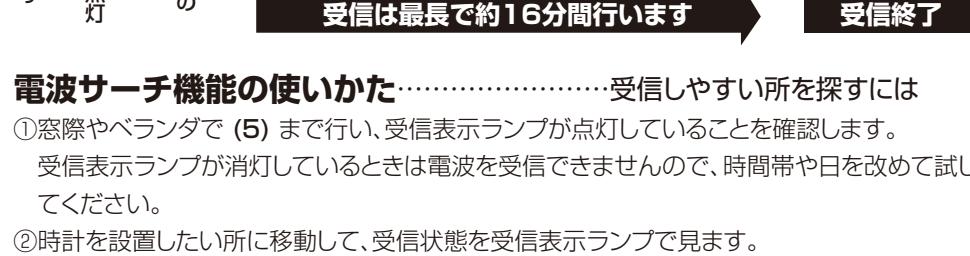
ふたの取り付け

ふたの▲印が「OPEN」位置になるようにふたをはめ込み、▲印を「CLOSE」の位置まで右に回転させてください。



- パッキンに砂やほこりなどの異物が付着すると防水性能が低下しますので、取り除いてください。
- ふたが固く締めづらいときには、ふたを外して、パッキンの表面に良質のハンドクリームを薄く塗ってください。

標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

電波を受信できないときは、手動で時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになつてから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞ (電波受信機能のON/OFF操作) 参照。

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きります。

○時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されます。

秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクオーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。

※この説明文の中「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

■電波受信機能をONにするには(開始するには)

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押してください。

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ) を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

② 強制受信ボタンを押す (標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照

受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。針は、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ 時計の掛けかたに従い、時計を確実に掛ける

④ 16分待って受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。

消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探すか、(標準電波を受信できない場合) を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

時計の掛けかた

△注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具がしっかりと掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかりと掛かるものを選んでください。

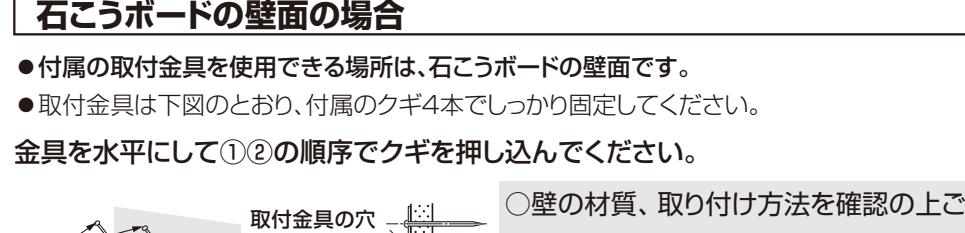
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○壁掛け部以外には掛けないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。

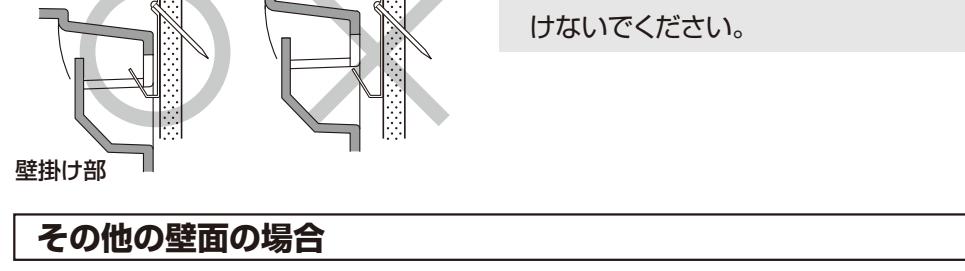


石こうボードの壁面の場合

●付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

●取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかりと固定してください。

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込んでください。



その他の壁面の場合

●上記以外の壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

明暗センサーのはたらき ……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止し、受信表示ランプが消灯します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

十分に明るい所で秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要です。

電池の交換時期お知らせ機能

重要

電池の交換が必要になると、明るい所でも秒針が12時位置で停止し、電波の受信を行いません。時針と分針はこのようになってから約1ヵ月間^{注1}時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してください。

●ご使用状態により、この期間は前後します。

※電池を長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。

電池は時計が動いていても、5年に1回定期的に交換してください。

使用する電池の条件

電池を長期間使用しますので次のことをお守りください。

条件を満たさない電池を使用すると、電池からの液漏れにより時計の故障や損傷を与えることがあります。また、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。

①電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上

例: 2017年3月に交換 03-2021より先の「使用推奨期限」表示のある電池

②同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの

③未使用の電池

④単3形アルカリ乾電池



使用推奨期限の表示例 月一年

おもな製品仕様

使用 温度 範 囲 -10 ~ 50°C *結露しないこと

時 間 精 度 標準電波受信成功直後の表示精度

秒針 土1秒 時分針 目盛りに対して±3度

標準電波を受信しない場合

平均月差±20秒(温度が5~35°Cのときのクオーツ精度)

推 奨 電 池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 4個

電 池 寿 命 約5年 標準電波の受信に成功して、秒針が1日当たり7時間暗所で停止した場合

暗 所 秒 针 停 止 明暗センサーに連動して12時位置に停止

電 池 交 換 期 期 秒針が常時12時位置に停止

お 知 ら せ 機 能 電波の受信に成功すると時刻を修正

受 信 局 福島局／九州局 自動選択

サ ー チ 機 能 受信局、電波強弱受信を表示

受 信 回 数 1日に最少1回、最多6回

受信ON/OFF ボタン操作でON/OFF切り替え

自動受信開始時刻 受信状態により、受信回数は変化します。

2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒

*2時16分20秒は必ず受信を行います。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4本、保証書 1枚